



史跡などの紹介じゃ

1 山王窟【史跡】



骨寺村の一番高まった高所にあり、絵図の上部に強調して描かれています。天台宗の本山延暦寺の地主神である日吉山王神を祀った場所と考えられています。 ※危険な悪路のため立入禁止です。

2 駒形根神社【史跡】



絵図の西端に描かれている「駒形」「駒形根」である栗駒山(須川岳)を拜むための神社です。絵図に描かれている六所宮と考えられています。

3 梅木山遺跡【史跡】



発掘調査によって、13世紀の中国産青磁碗の破片が出土しています。江戸時代の建物跡も発見され、伝承にある梅木屋敷との関連が想定されます。

4 伝ミタケ堂跡【史跡】



山岳信仰の聖地だったと考えられている場所で、西に山王山、眼下に荘園を望めたといわれています。絵図に描かれており、当時の村の北境でした。 ※私有地及び危険な悪路のため立入禁止です。

5 遠西遺跡【史跡】



発掘調査によって、整地された平坦面と掘立柱建物の痕跡が確認されました。12～13世紀の土器と陶器が出土しており、荘園時代の生活の跡と考えられています。

6 要害館跡【史跡】



戦国時代の山城で、空堀などの跡がうかがえます。本寺十郎左衛門の居城と伝えられており、荘園の終末を示す遺跡です。 ※私有地及び危険な悪路のため立入禁止です。

7 若神子社【史跡】



絵図に描かれている場所の一つであり、近年の研究では栗駒山(須川岳)を拜むための施設であったといわれています。 ※私有地のため立ち入るにはガイドの同行が必要です。

8 不動窟【史跡】



北側の山の中腹にある岩屋で、絵図に描かれています。高さ3m、奥行き13mの洞窟で、修験者の活動の場所であったと考えられています。 ※私有地のため立ち入るにはガイドの同行が必要です。

9 慈恵塚【史跡】



北側に連なる山並みの東の端を逆楽山といい、その尾根付近に慈恵塚があります。現在は、江戸時代に築かれた石祠などが残っています。 ※私有地のため立ち入るにはガイドの同行が必要です。

10 慈恵大師拜殿【史跡】



慈恵塚の山麓にある神社で慈恵大師を祀っています。 ※私有地のため立ち入るにはガイドの同行が必要です。

11 中澤



絵図で中澤と記されている浅い谷筋です。絵図には谷の頭に宇那根社(水神を祀ったとされる)が描かれていますが、場所は特定されていません。

12 白山社【史跡】



白山社は、白山比咩神を請い迎えたところです。石川県の白山比咩神社は中世には比叡山の末院となり、白山神人は天台宗勢力の伸張のために活躍しました。 ※私有地のため立ち入るにはガイドの同行が必要です。